

5.3 インストゥルメントおよびインストゥルメント用ホース

5.3.1 給水ラインの洗浄

トリートメントセンターの給水ライン内で微生物が繁殖する可能性があります。治療の前に行う給水ラインの洗浄には、大量の水を使ってください。

> スピットンの洗浄機能を、1分以上作動させます。



5.3.2 給水ラインの洗浄（パージ機能）

細菌の量を低く抑えるためには、ドクターユニットの給排水ラインと接続されたインストゥルメントの給水ラインと、アシスタントユニットの SPRAYVIT L 多機能シリンジの給水ラインを水で洗浄します。

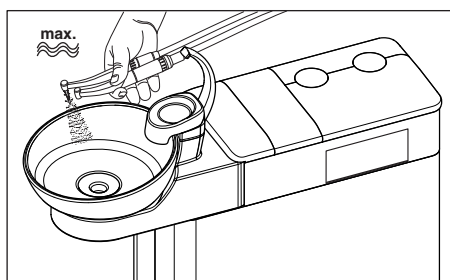
パージ機能を使用する場合は、個々のインストゥルメントをホルダーから取り外し、洗浄のためにスピットンの上にかざします。その後、取り外したすべてのインストゥルメントの給水ラインを、同時に洗浄します。SPRAYVIT L のスプレーキーを押すと、パージが開始されます。

給水ラインを自動的に洗浄することも可能です。詳細は、「給水ラインの自動洗浄（自動パージ機能）」を参照してください。

準備

給水ラインの洗浄前に行う準備作業は、次のとおりです。

1. 洗浄するすべてのインストゥルメントの給水量を最大に設定します。
2. すべてのインストゥルメントをそれぞれのホルダーに収納します。



パージ画面の起動

✓ タッチスクリーンにスタートプログラムが表示されていること。

1. サブ画面キーに触れます。

☞ スタートサブ画面が表示されます。





2. パージ機能キーに触れます。

☞ タッチスクリーンにパージ画面が表示されていること。

洗浄時間の設定およびパージ機能の開始

取り外したインスツルメントのパージ時間は、20～180秒の範囲で設定できます。

✓ タッチスクリーンにパージ画面が表示されていること。

1. -キーと+キーを使用して、パージ時間を設定します。

2. **Start** キーに触れます。

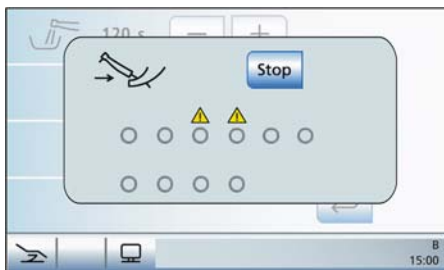
パージ作業中に行った変更は、次回パージ作業を開始した後にのみ適用されます。

エラーメッセージ: インスツルメントをインスツルメントホルダーに収納してください。

ホルダーに収納されていないインスツルメントが検出されている場合、パージ機能始動後に、**インスツルメントの収納画面**が表示されます。

➢ タッチスクリーン上の三角形の警告マークの付いたホルダーのインスツルメントを確認してください。

☞ すべてのインスツルメントが収納されている場合、パージプログラムは継続します。



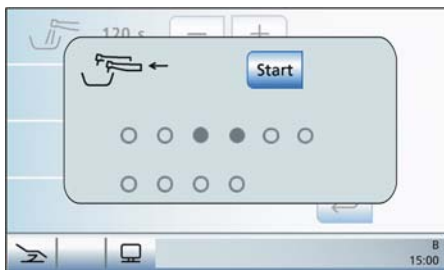
水経路の洗浄

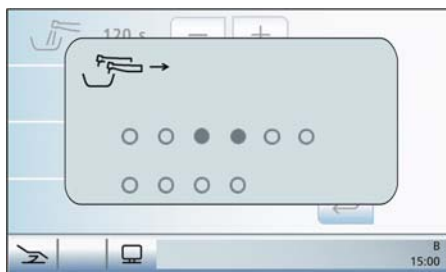
✓ タッチスクリーンに**インスツルメントの取外し画面**が表示されていること。

1. 洗浄するインスツルメントをホルダーから取り外します。

☞ タッチスクリーン上では、すでに取り外されているインスツルメントはグレーで塗りつぶされた円で表示されます。

2. インスツルメントをスピットンの上で保持し、ドクターユニットのスタートキーを押します。**SPRAYVIT L**のスプレーキーを押すと、パージが開始されます。





- ☞ 取り外されたインストゥルメントの水による洗浄が、設定されたパージ時間、行われます。経過時間は、タッチスクリーン上のプログレスバーで表示されます。パージ時間が経過すると、**インストゥルメントを降ろす画面**が表示されます。

3. 取り外したインストゥルメントをホルダーに戻します。ホルダーに収納されていないインストゥルメントには、タッチスクリーンでグレーに塗りつぶされた円の印が付きます。

- ☞ すべてのインストゥルメントが収納されると、**インストゥルメントの収納画面**が閉じます。

☞ これで給水ラインの洗浄処理は終了しました。トリートメントセンターは使用可能な状態になります。

パージ機能の取消し

エラーメッセージが表示された場合は、インストゥルメントをホルダーに戻してください。洗浄中の場合は、パージ機能を取り消すことができます。

> タッチスクリーン上の **Stop** キーに触れます。

5.3.3 給水ラインの自動洗浄（自動パージ機能）

自動パージ機能を使用すると、ドクターユニットおよびアシスタントユニットの SPRAYVIT L 多機能シリンジの給排水ラインと接続されたドクターユニットのすべてのインストゥルメント、バキュームホース、コップ給水装置を自動洗浄することができます。

ウォーターユニットに取り付けられたすべてのインストゥルメントは、自動パージ機能が作動すると洗浄されます。ウォーターユニットにインストゥルメントが取り付けられた状態で、トリートメントセンターの電源をオフにした場合、次回、トリートメントセンターの電源を入れたときに、洗浄処理が自動的に開始されます。

自動パージ機能の実行

- 作業開始前
- 1日の診療終了後

個別にインストゥルメントを洗浄することも可能です。詳細は、「給水ラインの洗浄（パージ機能）」[→ 200]を参照してください。

準備

給水ラインの洗浄前に行う前に、次の準備をしてください。

1. すべてのバードライブと SIROSONIC TL スケーラーの注水量を最大に設定します。
2. すべてのインストゥルメントをそれぞれのホルダーに収納します。
3. コップホルダーをスピットンから取り外さないでください。**空のコップを給水口の下に置きます。**

自動パーズ画面の起動

- ✓ タッチスクリーンにスタートプログラムが表示されていること。
- 1. サブ画面キーに触れます。



- ⇒ スタートサブ画面が表示されます。

- 2. 自動パーズ機能キーに触れます。

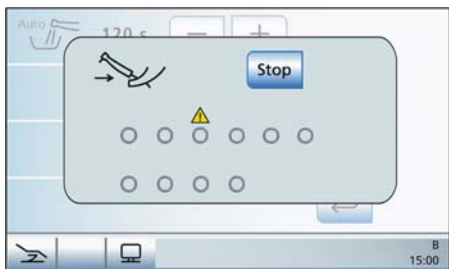


- ⇒ タッチスクリーンに自動パーズ画面が表示されていること。

洗浄時間の設定および自動パーズ機能の開始

インストゥルメントの洗浄時間は、60 ~ 180 秒の範囲で設定できます。

- ✓ タッチスクリーンに自動パーズ画面が表示されていること。
- 1. - キーと + キーを使用して、パーズ時間を設定します。
- 2. Start キーに触れます。



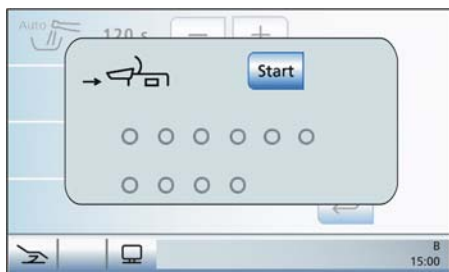
エラーメッセージ: インストゥルメントをインストゥルメントホルダーに収納してください。

ホルダーに収納されていないインストゥルメントが検出されている場合、自動パーズ機能始動後に、左図に示す画面が表示されます。

- > タッチスクリーン上の三角形の警告マークの付いたホルダーのインストゥルメントを確認してください。
- ⇒ すべてのインストゥルメントが収納されている場合、自動パーズプログラムは続きます。

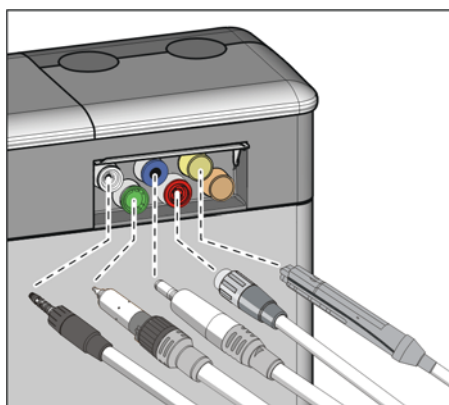
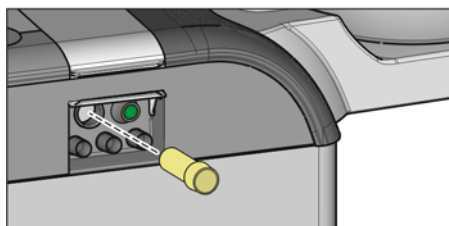
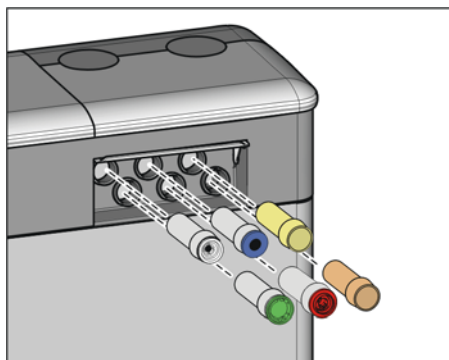
ウォーターユニットの差込口への給排水ラインに接続されたインストゥルメントの挿入

ウォーターユニットには、バキュームホースおよび給排水ラインと接続されたインストゥルメントの差込口があります。すべてのインストゥルメントを同時に水で洗浄できます。このためには、給排水ラインと接続されたインストゥルメントをウォーターユニットの差込口に差し込む必要があります。



✓ タッチスクリーンにウォーターユニットへのインストゥルメントの挿入が表示されていること。

1. バルブ本体からスプレービットカバーを外し、給排水ラインと接続されたインストゥルメントからストレートハンドピースとコントラアングルハンドピースを外し、バキュームホースからバキュームチップを外します。
2. アダプタがロックするまで差込口に差し込みます。スプレービットのアダプタはガイドリブを上に向けた状態で差し込みますが、ドクターユニットの右側の2つの差込口以外には差し込みません。同様に、スプレービットのアダプタをアシスタントユニット側に差し込んでください。アダプタはウォーターユニットに取り付けたままでもかまいません。

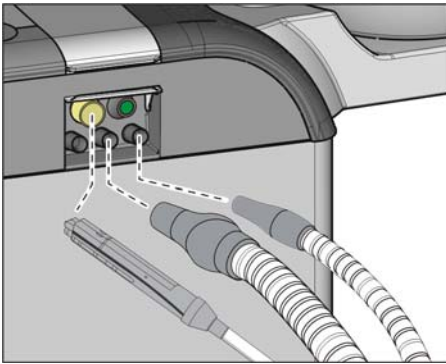


重要

アダプタの差込み位置

黄色 = SPRAYVIT L、右ボタンの水
オレンジ色 = SPRAYVIT L、左ボタンの水
白色 = タービンハンドピース
緑色 = BL モーター
青色 = BL ISO C モーター（ISO インタフェース）
赤色 = シロソニック TL スケーラー

3. ドクターユニット側：給排水ラインと接続されたすべてのトリートメントインストゥルメントのカップリングをウォーターユニットのアダプタに差し込みます（SPRAYVIT L 用：バルブレバーは上、ロックボタンは下）。



Start

- アシスタントユニット側：SPRAYVIT L のバルブ本体をウォーターユニットのアダプタに差し込みます。さらにバキュームホースも差し込みます。

重要

インストゥルメント用ホースの締め付け

インストゥルメントを差し込む際、インストゥルメント用ホースを締め付けないように注意してください。

ホースを締め付けると、洗浄時に水が流れにくくなります。

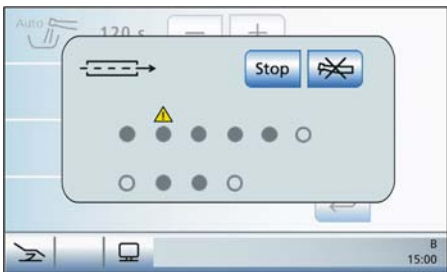
- すべての給排水ラインと接続されたインストゥルメントとバキュームホースを差込口にに取り付けます。

- タッチスクリーンのスタートキーに触れます。

- トリートメントセンターは最初に、インストゥルメントからの水流を確認します。この処理は数分間かかります。

エラーメッセージ：水流なし

トリートメントセンターがインストゥルメントの水流を検出しない場合は、関連インストゥルメントからの給水回復を試すことができます。再試行しても給水されない場合は、対象のインストゥルメントを洗浄処理から除外できます。



- タッチスクリーン上の三角形の警告マークの付いたホルダーのインストゥルメントの水流を点検します。インストゥルメントの注水量を最大に設定します。すべてのインストゥルメントをそれぞれのアダプタに取り付けたままにします。

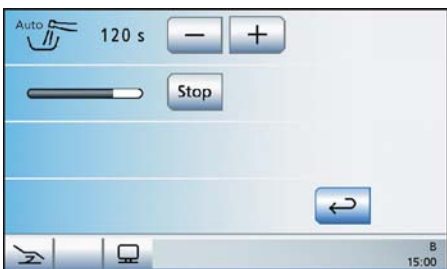
- トリートメントセンターが水流を検出すると、三角形の警告マークは消えます。すべてのインストゥルメントで水流が検出されると、自動パージプログラムは自動的に続きます。

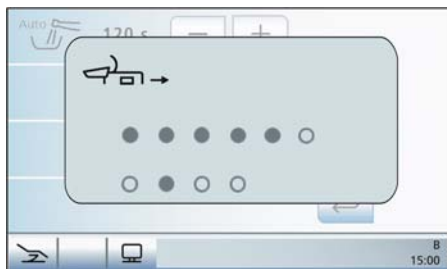
- 対象のインストゥルメントを洗浄から外す場合は、インストゥルメント除外キーに触れます。

- 自動洗浄プログラムが継続されます。除外した給水ラインは、洗浄処理の対象外となります。

水経路の洗浄

取り外されたインストゥルメントは、設定自動洗浄時間、水で洗浄されます。洗浄経過時間はタッチスクリーンのプログレスバーで表示されます。





洗浄時間が経過すると、左図に示されている画面が表示されます。引き続き、次のいずれかの方法で洗浄を継続できます。

- **Instrumentはウォーターユニットに接続した状態にしておきます。**

自動パージ機能はアクティブ状態です。

Instrumentをウォーターユニットに接続したまま、トリートメントセンターの電源を切ってもかまいません。翌日、トリートメントセンターの電源を入れるとすぐに、ウォーターユニットに接続されたすべてのInstrumentとコップ給水装置に対し、自動パージ機能が再度自動的に実行されます。

その後、通常の治療作業に向けトリートメントセンターの準備をします。

トリートメントセンターを長期間使用しない場合は、毎日、短時間電源を入れ、洗浄作業終了後に電源を切ってください。これにより、給水ライン内の細菌が極端に増殖することはありません。

洗浄処理が終了するごとにコップを空にし、給水口の下に置きます。

- **InstrumentをInstrumentホルダーに収納してください。**

自動パージ機能は終了します。

> ウォーターユニットからInstrumentを取り出し、ホルダーに戻します。ホルダーに収納されていないInstrumentには、タッチスクリーンでグレーに塗りつぶされた円の印が付きます。

☞ すべてのInstrumentが収納されると、**Instrumentの収納画面が閉じます。**

☞ これで給水ラインの洗浄処理は終了しました。トリートメントセンターは使用可能となり、通常の治療作業の準備ができます。

自動パージ機能の取消し

注水量点検終了時または洗浄中、InstrumentをInstrumentホルダーに収納してくださいというエラーメッセージが表示された場合は、自動パージ機能を取り消すことができます。

> タッチスクリーン上の **Stop** キーに触れます。

